



法政大学
HOSEI University

小金井キャンパス教職課程センター通信

「こがねい」

西館 B1 kkck@ml.hosei.ac.jp

NO.3 2025/5/24



教育実習に向けて

教育実習が始まっています。教育実習は教員になろうとする学生の実習です。そのために学校は時間と場所とノウハウを提供していることを決して忘れないようにしてください。ですから単なる体験ではないのです。実習生にとっては、経験の数日であっても、生徒にとってはかけがえのない青春の日・取り返しはつかない日の中での経験ということを中心に留めておきましょう。

さて、老婆心ながら、実習に向けての注意事項。**【公務員としての信用失墜行為の禁止：知ってますよね】**

【出退勤】 出退勤の押印は忘れずに（遅刻は論外です。毎朝検温し、体調維持に心がける。

【打ち合わせ】 朝の打ち合わせ・授業打ち合わせ・授業見学には必ずメモをとる。個人情報秘密厳守

【授業見学】 実習生の授業だけでなく自分の教えるクラスの授業や教科の授業はなるべく見学する。（事前に担当教員の許可をとる）時として、実習生の控室で会話していることが見受けられます。

【規則厳守】 実習日誌・指導案は時間減厳守で提出、授業見学等も休み時間に教室待機。

ICTを利用したい場合は担当教員と相談すること。私物 USB や私物 PC タブレットの持ち込みは厳禁です。

【教員として】 実習生も教員として、生徒と接します。生徒からは年齢が近く親しみやすい存在です。ですが、言動には十分に注意してください。

生徒間のトラブルや、生徒の様子で気が付があれば、担当教員に報告すること。自分で解決しないこと。

生徒に軽々しく触れない。身体接触はさけること。

実習生同士も生徒の前では〇〇先生と呼ぶ。

部活に参加する場合でも生徒は皆同じように呼ぶ。（愛称や名で呼ぶことはNG）

生徒と写真を撮る、LINE 等の SNS でのやり取りは厳禁。（就活も含め SNS の厳正な自己管理の徹底を）

私は、教育実習で、指導案の OK が出ずに、胃が痛くなったことを覚えています。数学の行列の導入で教科書の例のまま始める指導案でしたが、「なぜ、教科書の単元の並びがこうあるのか」これが課題でした。生徒・学生の時は解ける・わかるが楽しかったけれど、教える・導く立場では異なります。授業は流れが大切ということです。

1 時間の授業だけでなく単元の流れもしっかりです。「この単元はどのようなことを考えさせるのか」を念頭に発問方法・問題提起や設定をステップアップさせること、1 単元に固定しない解法の考え方を探究してきました。自分の知っている楽しさを生徒に伝えることができる授業は、とてもやりがいがあります。

また、生徒の顔は 1 つではありません。学習・行事・部活動・休み時間・放課後・そして、その 1 つ 1 つでも、状況に応じて変化成長していきます。「人に認めてもらうこと」は誰でもうれしいことです。皆さんの実習中は行事もあるでしょう。準備・練習や本番に参加しながら行事を学ぶことはもちろんですが、生徒一人一人の行動も見配り気配りしてください。学習の態度が思わしくない生徒ほど、新たな顔が見いだせるものです。そして、褒める時は、些細なことでも本気で褒めてください。心配も励ましも、ここ数日関係だからと軽くやり過ごすのではなく、本気で声をかけてください。もちろんその後の担当教員への報告と指導助言を受けることは忘れずに。人間同士ですから、相性はありますが、教員は演技者でなければなりません。演技をしているうちに、本気で生徒一人一人を大事に思えるようになります。

初めての体験です。たくさんがいてください。考えてください。そして人間力を磨いてください。

【個別最適な学び】とは

小論文作成にこのテーマが出ると、①ICTを活用し、個別の躰きに適したAIが作成類題を解かせ理解させる。
②発展問題を自分で選択して「できる・わかる」を体験させ深い学びをさせる。が目立ちます。

個別に対応した学びは、これまでも補習や習熟度別授業など行われてきています。

なぜ、今なのでしょう。

◆コロナが発生し、学校は休校や、分散登校になり、オンライン授業が導入され、一応その学年の教育課程を終えたことになっていますが、実は高校入試の範囲が狭くなったり、多くの補習が導入されたりしました。この経験から、「**学びを止めない**」課題が浮上したのです。

◎朝のTV番組では「フィードバック」についてコメンテータの大学教授が語っていました。

そもそも、機械のフィードバック制御が起源です。(これについては、皆さんの法が詳しいでしょう)

それを人の行為に適応させた言葉です。これまでの学習は、学校で教員が生徒へフィードバックしてきました。これを自分自身でフィードバックできる力を育成するのが令和の教育なのです。

☆つまり、生徒が単元の目標を目安に学習計画をたて、自己調整(フィードバック)しながら自分でわかる・できる学習を実行していくことです。それが「自立した学習者の育成」なのです。教師が行う授業の一部が個別になるとか、形式の話ではないのです。

そのためには、これまで多くの資料や教材を教員が準備する必要がありましたが、それをICT活用やクラウドへの蓄積活用により可能にするというのが目標です。目標ですから、「はい、わかりました」と実行できるわけではありません。

では、教員がすべきことは何でしょうか。上記☆をよく読んでください。

- ① 単元内容を単元で構想化すること。単元の流れを意識して指導すること(単元のめあてや流れの開示)
- ② フィードバック方法を指導すること(評価に関する情報開示・共有)

そのためには、これまで以上に生徒の成長やつまづき、悩みなどの理解に努め、個々の興味・関心・意欲等を踏まえてきめ細かく指導・支援することや、子供が自らの学習の状況を把握し、主体的に学習を調整することができるよう促していくことが求められるのです。

この「学びを止めない」課題は、感染症の流行にとどまるわけではありません。学校の学習に限らないのです。そうです。察しの良い皆さんはひらめいたことでしょうか。

中央教育審議会答申の目次 1. はじめに の冒頭を要約すると

人工知能(AI)、ビッグデータ等の先端技術が高度化し Society 5.0 時代が到来しつつあり、社会の在り方そのものが劇的に変わる状況が生じつつある。我が国の学校教育の現状に目を向けると、知・徳・体を一体で育む「日本型学校教育」は全体としては着実に成果を上げている一方、言語能力や情報活用能力、学習意欲等の課題が指摘されている。

そして、目次は次のように続きます。

2. 個別最適な学びと協働的な学び

- (1) 個に応じた指導と個別最適な学びについて
- (2) 協働的な学びについて
- (3) 個別最適な学びと協働的な学びについて

1. 急激に変化する時代の中で育むべき資質・能力

- 社会の在り方が劇的に変わる「Society5.0時代」の到来
- 新型コロナウイルスの感染拡大など先行き不透明な「予測困難な時代」

新学習指導要領の着実な実施

ICTの活用

一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要

個別最適な学び
と
協働的な学び

という論理が展開されているのです。

ですから、このテーマであれば、以下のような序論も考えられるでしょう。あなたならどうしますか。あなたの言葉で練ってみましょう。

序論) Society 5.0 時代が到来し激変する社会にあって、豊かな人生を切り拓き、持続可能が社会の創り手を育成することが必要である。しかし、知・徳・体を重視する「日本型教育」は諸外国から高い評価を得ているが、生徒の多様化や学習意欲の低下が課題となっている。そこで、生徒一人一人が自分の良さや可能性を認識し、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働することが重要である。私は高等学校数学科教員として次のように取り組む。

参考資料)

急激に変化する時代の中で育むべき資質・能力として「令和の日本型学校教育」の構築を目指して ～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申)【概要】

https://www.mext.go.jp/content/20210126-mxt_syoto02-000012321_1-4.pdf

有識者インタビュー GIGA スクール構想×個別最適な学び(上智大学 教授 奈須正裕 氏)(令和5年5月30日掲載)

<https://www.mext.go.jp/studxstyle/special/51.html>

6月のTRY

イメージで語らない。これは小論文・面接対策につながります。

用語はその背景と手立てまで含めて知る。そして、自分ならば・・・と考えて行動していくことが必要です。必要な見識を獲得することも、教師を目指す情熱の一つとしての評価です。

- 多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるものとなるための教育の在り方が求められています。
 - 上記 _____ 部分をなんといいますか。
 - この教育が求められる背景は何でしょう。
 - この教育の在り方は大きく分けて 2 つ 要素 と 要素 です。これを ある形で に向上させていくことが重要です。
 - このことについて、あなたの考えを述べた上で、その考えに立ち、教師としてどのように取り組んでいくか志望する校種と教科等に即して述べなさい。(志望する都道府県の文字数)
- インクルーシブ教育
 - 特別支援教育の違いは何。
 - インクルーシブ教育の背景は何でしょう。
 - インクルーシブ教育についてあなたの考えを述べた上で、その考えに立ち、教師としてどのように取り組んでいくか志望する校種と教科等に即して述べなさい。(志望する都道府県の文字数)